

送付5-43 陳情審査部分抜粋：
令和5年12月8日 企画総務委員会（未定稿）

○小林委員長 はい。それでは、日程1、陳情審査に入ります。

企画総務委員会に、新たに、送付5-43、外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例を審査する前に万世会館の状況を区民へ説明し、区民から意見を聞き、活かすことを求める陳情が送付されました。陳情につきましてお手元に配付しておりますけれども、朗読は省略してよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小林委員長 はい。省略します。

それでは、執行機関から本件に関係する情報があれば、提供をお願いできますか。

○千賀コミュニティ総務課長 こちら、万世会館でございますが、当該万世会館は、平成5年4月でございます、30年前となりますけれども、区内で唯一の公設の葬祭専用施設ということで、この外神田一丁目の地、この地を開館いたしまして、以来30年にわたり、運営をしてきているところでございます。その間、葬儀としては約2,900件、参列者は52万人というところをご利用いただいているところでございます。

近年の状況といたしましては、コロナの前後ということになりますけれども、平成30年度に91件、それからコロナ禍で、令和2年度58件程度に落ちたところでございますが、昨年、令和4年度、コロナ回復にある中で77件、そして今年度も10月までの半期でございますが46件と推移を示しており、一定の需要も引き続きあるということでございますので、区といたしましては、引き続き葬祭施設として維持していくというふうにしていきたいという認識でございます。

また、こちら、開発でこの施設を更新するということもございますけれども、従来から課題として、敷地が狭隘で、各フロアが狭いということがございます。ご葬儀に際しては、三、四フロア上下移動するような場合もあるということで、移動距離が長く、ご家族、ご葬家や参列者、葬儀社にとって不便な面があるということ、あと、エレベーターが1基で利用者や葬儀社の同時利用などで混雑するという、使い勝手が悪い、あるいはバリアフリー的に問題があるということがございました。さらに、近年は家族葬など葬儀規模に合わせて会場スペース、なかなか調整ができないということもあり、改善の必要があるということでもございました。

こういった課題を解消する機能更新の機会といたしまして、今般の外神田一丁目の再開発の中で整備するというところで調整を進めているところでございます。

説明は以上でございます。

○小林委員長 はい。説明いただきました。委員の皆様の質疑、質問を受けます。

○米田委員 陳情が提出されました。で、ここに書いているんですけど、要求水準が満たされていないと。これって、基本的には、今後、もともと要求水準があると思うんですけど、今後の開発とか様々な中で、区として要求していくのではないんですか。まず、そこをお聞きしたいです。

○千賀コミュニティ総務課長 こちらは、要求水準は、平成29年時点にこちらで取りまとめて、所管の環境まちづくり部を通して共有しているところでございます。それに関しての整備案というものが、令和3年頃ですかね、提示をされているところでございます。

先ほど申し上げましたような狭隘な敷地というところで、敷地が狭くて縦長の構造だったので、ワンフロアで葬儀ができるというようなところの改善が図られるというような話

送付5-43 陳情審査部分抜粋：
令和5年12月8日 企画総務委員会（未定稿）

は、整備案の中であります。今回、陳情では、駐車場の点で、まだ厳密にはその要求水準を満たしていないというところはあるところでございますけども、そういったいろいろな整備内容につきましては、まだ開発のほうから具体化していくというところがございますので、その中で協議をしながら、より要求水準なり、あるいは使い勝手がいいというところを満たしていきたいというところ、今後の協議の中で満たしていくという考えでございます。

○米田委員 ということは、やっぱり、今後、そういった部分、さっき課長が言われた移動困難とかエレベーターとかバリアフリーとか、その辺は今後、当然入ってくると。ここに書かれている駐車場も、今、現段階では満たしていないけど、しっかり要望していくと、要求していくという考えでいいんですね。

あと、説明していないと言うけど、ある程度の説明がされていると僕は思っているんですけど、区民に対しての説明ね。こういったこと、これはやっていないわけではないんですね。

○千賀コミュニティ総務課長 こちら、開発の中で、たしかオープンハウス方式で説明会など、会を催しておると。それは令和3年の7月頃だったと思いますけど、そういう形で区民にもお示しをしているところがございます。

○米田委員 分かりました。

あと、2番のところなんですけど、これ、必要な施設だと皆さん思われていると思うんですけど、この経費も含めて絶対必要なのかと書いているんですけど、ここは私は必要だと思っているんですけど、そこはしっかり言っておかないといけないなとは思っているんですけど、いかがですか。

○千賀コミュニティ総務課長 そうですね、経費につきましては、現状、年々歳々、様々な物価高騰等ございますので、どうしても単純比較で言いますとちょっと大きくなっているというところがございます。ただ、一方で、決算と予算とかいろいろ視点はございますけども、引き続き効率的な運営を図りまして、経費の、運営経費は無駄のないようにというところは取り組んでいるところがございます。

○米田委員 最後になるんですけど、ここ、都合のいいことばかり言っているとか、そんなことも私はないとは思っているんですけど、より区民が納得した、安心できと書いているんですけど、そういうことは今後もしっかり区民の皆様、万世会館も含めてご説明していかれるということによろしいですか。

○千賀コミュニティ総務課長 はい。この当該の万世会館でございますけども、先ほど平成5年に開館というところではございましたが、それまでかなりこの地域のほうで建てるといって、十数年、いろいろ、地域のほうと協議をして、ようやくに建っているという、そういった区内で唯一の葬祭施設であるというところの認識で、これは、基本的には区として必要だということの認識がございます。そういった点を含めまして、きちっと区としてこれからも必要に応じて説明はしていきたいと思っております。

○小林委員長 大坂委員。

○大坂委員 区として必要としているというところについては私も同感で、千代田区の中で唯一の施設ですので、しっかりと今後も維持していかなければいけないものだろうというふうには思っているんですけども、要求水準と葬儀のやり方の変化というところで

送付5-43 陳情審査部分抜粋：
令和5年12月8日 企画総務委員会（未定稿）

陳情が上がっていると思います。先ほどコロナ後も利用者の数というのは回復してきているというような話はありませんでしたが、葬儀のやり方ですとかそういった部分に変化というのは何か見られているのでしょうか。

○千賀コミュニティ総務課長 それにつきましては、やはり傾向といたしましては、葬儀の小規模化というか、いわゆる家族葬的なものが増えているということですか、あと、基本的にご葬儀は、お通夜があって、翌日告別式というようなスタイルがあるかと思うんですけど、今は、式場を借りるのを1日でやってしまうというような1日葬という傾向、そういう傾向はこの現状の万世会館でも半分以上がそのような傾向になっておるところでございます。

そういう点も踏まえまして、会場がより有効活用できるように、スペースが変更できるようなところのつくりも、現状はなかなか難しいところもございますので、この整備を機に、そういった葬儀の規模に合わせて変えていくようなというしつらえも可能かなというところがございます。

○大坂委員 やり方が大分変わってきて、それに伴って施設についても変化していくことが求められているんだと思っはいるんですけども、当初のこの要求水準を作成したのが平成29年とか30年というところで、大分時間がたって、コロナが来て、そういった葬儀のやり方も変化したというところで、その水準自体を少し見直す必要が出てきているのか、それともこの水準のままでも十分対応できるというふうに考えていらっしゃるのか、ちょっと水準についての細かい資料がないので議論しづらいところではあるんですけども、今現状どのように考えているのか、説明をお願いします。

○千賀コミュニティ総務課長 冒頭申し上げましたように、現状の万世会館で最も大きな課題というのは、敷地が狭隘であったり、あとは縦長といいますか、上下でどうしても運用していかなくならないというところがございます。

今般、再開発の中で整備される場合は、例えばワンフロアが広く取れるということで、今まで受付とご葬儀会場とそれからご親族様等の控室がどうしても上下があるというところが、一つの階で済むというようなところの改善がございます。そういったところは、引き続き要求水準の中で必要かと。かつ、数フロア、2フロアぐらいをそういうふうに確保を求めていますので、先ほど来の葬儀が小規模化しているような場合を踏まえて、2フロア、二つのフロアでそれぞれで葬儀ができるような、そういうようなしつらえもしておく必要があるかなというところで、そういう基本的な要求水準の変化は従前どおりかなというところがございます。そのほか、より小規模化したような場合に対応できるような、細かい要求は今後あるかなと思いますけども、基本的にはそういうところを踏まえて、これから調整を進めていきたいと考えております。

○大坂委員 基本的なところで、特に変更する必要ないというところだと思いますが、今、答弁にもありましたとおり、細かいところでは様々、使い勝手をよくしていくための工夫というのは、これからも求められていくと思いますし、ここにもありますとおり、区民の方々の意見等々はしっかりと聞いていただいた上で進めていっていきべきものだと思いますので、その点についての考え方はどうでしょうか。

○千賀コミュニティ総務課長 一応、開発の計画の中でこの施設を整備していくというところがございますので、開発全体とのちょっと協議はあるというところは一つございます。

送付5-43 陳情審査部分抜粋：
令和5年12月8日 企画総務委員会（未定稿）

ただ、そういう中でも、より新たに整備される施設がよりきちっと使われて、かつ、いろいろな利便をより満たすような形、これ、日々のいろいろなご意見を承りながらしっかり取り組んでまいりたいと思います。

○大坂委員 しっかりと区民の利便性を損なわないような形で進めていただきたいと思います。思うんですけども、今後のスケジュール感等々、今、所管として描いていることがもしあればお答えいただきたいのと、もし建て替える場合になると、一旦取壊しという形になると思うんですけども、そのときの代替施設ですとか、そういったものについては検討されているのかどうかお答えください。

○千賀コミュニティ総務課長 これ、ちょっとあくまでもスケジュール感は、開発の進捗というところなので、ちょっと現状の所管といたしましては、そちらの動向を待つというところではございます。

建て替えに関しましては、お願いをしているところは、この既存の施設を残したまま、新しい施設を一旦整備していただいて、そこに移るといような、今、計画はお願いをしているところではございますので、そのとおりに行けば、継続してこの地で葬祭機能が維持できるという、一応はそういう目標で取り組んでおります。

○小林委員長 ほかにございますか。

○永田委員 陳情の中身としては、この、現状の計画では、万世会館はこのまま進むことに疑問があるということだと思うんですが、その点については、今、利便性を向上する、バリアフリーとかそういったことを改善されるということを確認できたので、理解しました。

その上で、当地に万世会館、葬儀場があることについて、賛否というか、反対意見というのは、これまでどの程度あるんでしょうか。

○千賀コミュニティ総務課長 特にその、現状運営している中では、万世会館自体の存在を否定するというようなご意見は、特に、日頃の苦情等でもないかなというところではございます。ただ、冒頭申し上げましたように、ここに設立するに当たりましては、多大なる地域の皆様のご協力、ご理解があって設立されたというところを踏まえてございますので、そういう形でしっかり運営していくことが区としての責務かなという認識でございます。

○永田委員 万世会館については特に反対意見というのはないということを確認できまして、私自身としては麴町に葬儀場がないですし、あと、さらに万世会館だけでなく、より多く区民の葬儀が安心して執り行えるような環境を整えてほしいというふうに考えています。

そうすると、万世会館が今後計画が進んでいくに当たって、意見も聞いてほしいというのいろいろなあるんですけど、細かい中身の仕様についても、これから、いろいろな意見を聞いたりとか改善していくということも先ほど確認できていますので、そうすると、じゃあ、賛否の件についてはもう問題ないので、この所管で取り扱える範囲内では、万世会館は必要であるという判断で、もう一度そこだけ確認して終わりにしますので、お願いします。

○千賀コミュニティ総務課長 ご意見を賜りまして、確かに、本当に区内で唯一公設といえますか、区が運営しているということの葬祭施設でございますので、そういったことの、

送付5-43 陳情審査部分抜粋：
令和5年12月8日 企画総務委員会（未定稿）

ご葬儀のニーズと言ったらちょっと語弊あるんですけど、必ずご葬儀というものは区民生活の中でいずれは行わなければならない、人生のターニングポイントであるということで、そういったところに関して行政としてきちっとそこを担う、需要を満たす施設が必要だということ、これを強く認識しておるところでございますし、そういったことで万世会館は引き続きあり続けるものであるという認識ということで受け止めております。

○永田委員 いいです。

○小林委員長 ほかにございますか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○小林委員長 それでは、本陳情に関する質疑は終了します。

それでは、本件の取扱いにつきましてはいかがいたしましょうか。

○大坂委員 基本的に、今、確認したところ、しっかりと進んでいるということと陳情者の意見のところとも幾つか相違するところもあるとは思いますが、議事録をもってお返しするという形でいいのではないかなというふうには考えていますが、いかがでしょうか。

○小林委員長 はい。そういう意見が出ましたけれども、いかがいたしますか。

○米田委員 私も大坂委員と同じ意見で、今日の議事録をおつけして、一旦お返しさせていただくのがいいのかなと思います。

○小林委員長 一旦お返し。よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小林委員長 はい。それでは、委員会としては、議事録をもって、陳情者に、本日行いました質疑と答弁をもって、陳情者にお返しするというので、お返しすることにいたします。よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○小林委員長 はい。じゃあ、以上で、日程1、陳情審査を終了します。